

# 音樂捷徑

上真行  
內田彌一譯

全

福岡第一師範學校  
(學校圖書)

登錄 番號	第	號
B24 外	美術及體育 音樂	門 部
總記	款	理論 項
B24	目	次
全	外	冊ノ内第 冊
分類 番號	第	號
	760.1	

24976

T1A1

76

U 14

圖書 和圖書 遡



福岡教育大学蔵書

福岡  
學部  
印

明治十六年四月新雕

上 真行閣  
内田彌一譯

# 音樂捷徑全

東京

内田氏藏



音樂捷徑序



音樂六藝之一。唐虞三代教育子弟。皆以此為先。漢唐以下。用之郊廟朝廷。以備儀容。雖有鐘鼓管籥之音。既失其實矣。吾邦中古雅樂。傳自李唐。樂亦如此。

明治中興。百度維新。詔州縣盡  
置學。以音樂不可闕於教育。乃  
命斟酌洋樂。調邦音。將大施之  
海內。於是文部奉旨。聘洋樂師  
明遜。式於求國。講究之。遂置音  
樂調所。以訓生徒。明遜乃授可

著教授連成法。蓋樂律精微。甚  
蘊奧。不易遽窺。故先授子弟以  
其最近易曉者也。局員內田君  
彌一。譯以國語。名曰音樂捷徑。  
以便生徒。請序於余。余素不解  
音律。頃以撰歌詞。受命本局。義不

可辭。夫世不同其制。國各異其俗。然至教育人材以供家國用。未嘗不同也。先王棟梁於唐。以爲一代法。未及施之民間。蓋有待今日之舉焉。余既嘉內田君之能收職。且喜此書之成。大稱

聖上重教育之旨。遂爲之序。

明治癸未三月

從六位依田百川撰



音樂捷徑

例言

一 此書ハ一千八百七十三年米國波士敦府公立學校唱歌學科ノ監督ルーゼル、ホワイチン、メーソン氏ノ著述セル新刊ノ唱歌教授法ニシテ其主意ハ未唱歌ノ技藝ニ熟達セザル學校教員ヲシテ八歳以上十二歳以内ノ生徒ニ第二年學期ノ課目ヲ教授セシメントスルノ豫備ニ出ヅルモノナリ故ニ其説ク所專速成ヲ旨トシ譜表ニ據ラズ數字

ヲ用テ簡單ニハ音練唱發音長短、小節區分及圓圈分割法、記譜法等ノ要目ヲ網羅シタレハ今日學校ニ唱歌ノ一科ヲ設クルノ時ニ方リ其教授上實ニ欠クベカラザルモノナリ是余ノ自拙劣ヲ顧ルニ違アラズンテ此書ヲ世ニ公ニスル所以ナリ、其行文ニ至リテハ或ハ原文ノ位置ヲ轉顛シ或ハ譯語ヲ増減シ看者ヲシテ其意ヲ解シ易カラシメ以テ此書ノ本意ニ負カザラントス、讀者幸ニ之ヲ咎ムルヲ勿レ

一 此書ノ末ニ掲ゲタル圖ハ紙筆、黑板ヲ藉ラズ獨リ手頭ノ動作ニ因テハ音律ヲ教示スルノ一良法ナレバ教員タル者平時之ヲ記臆シテ教授ノ際適宜ニ使用セラレンコトヲ希望ス

明治十六年四月

內田彌一 識

音樂捷徑例言終

音樂捷徑目次

第二年學期ノ着手法

第二年學期豫備ノ教課〔齡八歳ヨリ十歳

乃至十一歳ノ幼兒ニ適用ス〕

第一教 八音上下順唱ノ事

第二教 數字ニ依テ發音ノ長短ヲ悟

ラシムル事

第三教 數字ニ依テ小節ヲ區分スル

事

第四教 音階第一音ヨリ第五音ニ至ル諸音轉唱ノ事

定則記譜ノ教授法

第五教 調名及(ト)字記號ノ事

第六教 音符及<sub>E</sub>休止符ノ事

第七教 譜表線名稱ノ事

音階ヲ譜表上ニ轉記スル事

練習法如何ノ事

手頭ノ動作ヲ以テ音階ノ諸音ヲ指示ス

ル事

音樂捷徑目次終



音樂捷徑

上 真行 閱

内田彌一 譯

第二年學期ノ着手法

夫此書ノ主意タルヤ普通學校教員ノ未深ク音樂ヲ修メザル者ニシテ八歳ヨリ十一歳乃至十二歳ニ至ル少年生徒ニ第二年學期ノ課目ヲ教授セシムルノ一助ニ供セントスルニ在リ而シテ此第二年學期ノ授業ヲ受クル生徒ハ必初年

學期ノ授業ヲ經過セザル可カラズ然レモ其初年學期ハ五歳ヨリ八歳以内ノ幼兒ニ施スベクシテ此年齢ヲ過グル生徒ノ教育ニハ適用スベカラザルモノナリ

前條ノ理ニ基キ全級齡八歳以上ノ幼兒ヲ以テ成ル所ノ生徒ヲ教フルニ直ニ第二年學期ノ授業ヲ實施セシメンガ爲ニ余ハ一ノ教授法ヲ編纂シ以テ之ヲ初年學期ノ代用ニ供セント欲ス

口授ニ依リテ教示スル條件左ノ如シ

第一條○初編唱歌集ヨリ左ノ歌曲ヲ拔用ス但

各曲旋音ノミ

- 第一○櫻紅羨
- 第二○尺わふせむ
- 第三○喜のやよひ
- 第四○蝶々
- 第五○ほくふのひかり
- 第六○おんぼ
- 第七○薫りふあらし
- 第八○阿田川
- 第九○おぼろ

第十〇 やまや 撫子

第二條〇〔音階〕師ハ此書ニ於ル最初ノ音階ヲ黑板ニ記載シ口授ヲ以テ一音ヅ、之ヲ教授ス然レ氏此時ニ際シテ其音階ノ解説ヲ用ルコト勿レ而シテ又其音階ヲ如唱ハシメンニハ或ハ階名或ハ調名ニ依リテ上下ニ昇降セシムベシ未唱歌教授ノ定則ヲ設ケザル學校ニ在リテハ師先其生徒ノ景況ヲ視察シテ之ヲ左ノ三種ニ區分スルコトヲ要ス

第一種〇執心生

第二種〇順良生

第三種〇蒙昧生

執心生トハ自家或ハ日曜學校等ニ於テ既ニ口授ニ依リテ若干曲ヲ唱ヒ得ベキ教ヲ受ケタルモノニシテ尚ホ專ラ音樂ヲ學バントスル志アル生徒ヲ謂フナリ  
順良生トハ性最モ音樂ニ適スベキ能力ヲ有スト雖モ未嘗テ此習學ニ從事セザル生徒ヲ謂フナリ  
蒙昧生トハ性音樂ニ適スレドモ其一族絶エテ

音樂ノ道ニ通ズル者ナク且、父母及其友人等ノ常ニ音樂科ヲ學校ニ置テ厭ヒ此科ハ空シク時刻ト金錢トヲ費ヤシテ音樂ヲ解セザル輩ニ對シ甚ク障害アリトシテ之ヲ擯斥スルヲ聞クガ爲ニ未<sup>カ</sup>全ク此理ヲ啓發セザル生徒ヲ謂フナリ執心生ト他ノ二種生トノ比較ハ幼兒ノ八九歳ニ至ルマデ常ニ其音樂ヲ聽聞スルト聽聞セザルトノ慣習ニ出ヅルモノトス故ニ幼兒等若自家學校及、日曜學校等ニ於テ常ニ音樂ヲ聽聞シ且、其父母、友人等幼兒ノ其志念ヲ發スルヲ妨グ

ルコトナクンバ蒙昧生ト稱スル者必<sup>ス</sup>其數ヲ減ズルニ至ルベシ此ノ如キ學校ニ唱歌ノ授業ヲ施行セントスルキハ師先、執心生ノ薰陶ニ着手シ嘗テ唱ハザリシ生徒ヲシテ務テ之ニ從ハシメントスルコト勿レ又此際其執心生中數名奮テ發唱セントスル者アリト雖、其善ク音調ニ適セザルアラバ師ハ切ニ告諭シテ師ノ唱フ音調ヲ審聽セシムルヲ可トス然レ、決シテ生徒ノ唱ハントスル氣力ニ妨害ヲナスコト勿レ

師ハ生徒ノ勉勵心ヲ活動セシメンガ爲ニ必一  
 ノ試験法ヲ設ケザルベカラズ又其試験ニ使用  
 スベキモノハ即音階ニ依ルノ外ニ他ノ術ナカ  
 ルベシ而シテ師ハ全級中若干名此音階ヲ通唱  
 シ得ルカ或ハ若干名音階最初ノ三音ヲ上下ニ  
 朗唱シ得ルカ或ハ若干名其五音乃至六音ヲ上  
 下ニ爽唱シ得ルカヲ聽查シ或ハ生徒ニ演ブル  
 ニ此音階ヲ上下自在ニ朗唱スルコトヲ會得セ  
 バ即樂譜ヲ讀ミ得ルニ至ルノ理ヲ以テシ宜シ  
 ク生徒ヲ獎勵スベシ

第二年學期豫備ノ教課

〔齡八歳ヨリ十歳乃至十一歳ノ〕

幼兒ニ適用ス

第一教

師云○汝等既ニ口授ニ依リ或ハ世人ノ唱フヲ  
 聽キテ他人ト數曲ヲ合唱シ得ル者多シ故ニ尚  
 其教育ヲ經テ多種ノ歌曲ヲ學ビ修メバ汝ガ愉  
 快夫幾許ゾヤ且汝ガ年齢モ今亦樂譜ノ讀法ヲ  
 習學シテ音樂ノ趣味ヲ了知スベキノ時期ナラ  
 ズヤ其理他ナシ汝等初メ人ノ談話ヲ聽キ或ハ

人ノ口授ニ依リテ既ニ學ビタル言語ハ今日書ニ就キテモ亦之ヲ讀ムニ其易キヲ覺ユルト一般ナレバナリ是ヲ以テ汝等善ク此道ニ志シ務

テ其唱フ所ノ歌曲ニ意ヲ用<sub>ハ</sub>其進步スルコト極テ速<sub>カ</sub>ナラン故ニ先<sub>ニ</sub>靜肅シテ余カ唱フヲ審聽セヨ

〔此時師唱フコト上ノ如クス〕

師云○汝等余ガ今唱ヒシ如ク正



シク之ヲ唱フベシ

〔此時全級中八名乃至十名正シク之ヲ唱フ又師ハ此機ニ際シテ專<sub>ラ</sub>全級生ノ感覺ヲ活動セシメンコトニ注意スベシ〕

師云○善シ、余復<sub>カ</sub>唱ハン然ルニ余ガ音聲如何ノ方向ニ從テ一音ヨリ他音ニ轉旋スルカ善ク之ヲ審聽セヨ

〔此時師音階ヲ上唱ス〕

生答○師ノ音聲逐次ニ上昇セリ  
師云○汝ガ答フル所正ニ然リ、汝等又復<sub>カ</sub>審聽シ

テ余ガ音聲ノ轉動如何ヲ告ゲヨ

〔此時師音階ヲ下唱ス〕

生答○師ノ音聲逐次ニ下降セリ

師云○然リ余復最初ノ如ク更ニ上唱セン汝等切ニ審聽シテ其音數幾許ナルヲ告ゲヨ

〔此時師更ニ音階ヲ上唱ス〕

生答○八音ナリ

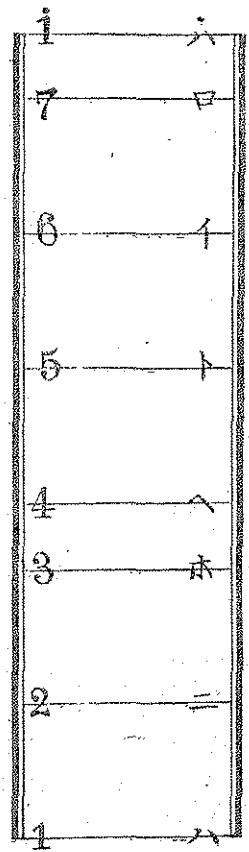
師云○余ガ唱ヒシ如ク汝等復此八音ヲ唱ヘ

〔此時全級過半正シク之ヲ唱フ〕

師云○全級過半今善ク之ヲ唱ヘリ余大ニ喜バ

シ即此八音ハ音樂上音階ト名クルモノニシテ一名ヲ樂階ト謂ナリ而シテ此音階ノ級等ハ下ヨリ上ヘ一、二、三、四、五、六、七、八ノ順序ヲ以テ數フルモノナリト雖此級等ニ斯ノ如キ文字ヲ記スルハ少シク其煩ハシキ所アルヲ以テ通常之ニ換フルニ(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(1)ナル數字ヲ使用ス又余ハ音階ノ此級等ヲ示サンガ爲ニ今八條ノ線ヲ圖シ之ニ數字ヲ記シ加フルニ(ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)(ト)(イ)(ロ)(ハ)ノ文字ヲ附シタリ是此文字ハ時アリテ階名ニ代用スルコトアルヲ以テナリ而シテ

汝等ヨク此ノ如キ音階ノ諸音ヲ會得セバ如何ナル歌曲モ皆(十)音或ハ他ニ己カ欲スル所ノ字音ヲ以テ自在ニ之ヲ唱(フ)コトヲ得ルニ至ルベシ



音階圖

第二教

音階ノ八音ハ其調ニ高低ノ差アルノミナラズ

尚<sup>ホ</sup>長短ノ差アリ

一音ヲ唱ハントスルニ當リテ其音ノ長如何ヲ示ス一ノ良法アリ即<sup>チ</sup>左ノ如シ

一音ヲシテ其長尋常掛時計ノ一振間ト等シカラシメントスルキハ其數字ノ右傍ニ(ワ)點ナル

記號ヲ附シ又其二振間ト等シカラシメントスルキハ其數字ノ右傍ニ(一)線<sup>横</sup>ナル記號ヲ附スルコト左ノ如シ

短音記號ノ例

長音記號ノ例



時アリテハ又時計ノ一振間乃至二振間休止ス  
 ルコトアリ然ル片ハ數字ニ換フルニ(0)ナル記

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 1,  
 1, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1,

1\_ 2\_ 3\_ 4\_ 5\_ 6\_ 7\_ 1\_  
 1\_ 7\_ 6\_ 5\_ 4\_ 3\_ 2\_ 1\_

號ノ右傍ニ界點或ハ横線ヲ附スルコト左ノ如  
 シ

0\_ 0,  
 短休止ノ記號  
 長休止ノ記號

第三教

凡<sup>レ</sup>歌曲ノ長<sup>カ</sup>ハ必<sup>ス</sup>皆時計ノ振數幾許ヲ有セザル  
 ナシ故ニ之ヲ等シク區分シテ其各部ヲ小節ト  
 名ク余試ニ左ノ如キ一音ノ長<sup>カ</sup>一振間ナル八音  
 ヲ以テ成ル單曲アリトス但<sup>レ</sup>此八音ノ如キハ嘗

テ唱ヒタル音階ノ音調ナリ

1,	2,	3,	4,
5,	6,	7,	1,

此八音ヲ縦線ト名クル界線ヲ以テ二短音ノ小節ニ區分スルコト左ノ如クセバ即其數四小節トナルナリ因テ之ヲ二部小節ト名ク而シテ其各小節ノ第一部分ニ必<sup>ス</sup>聲力ヲ附スベキガ爲<sup>ス</sup>其部上ニ(V)ヲ附シテ以テ其記號トスルナリ

$\frac{2}{\text{短音}}$	v 1,	2,	v 3,	4,
	v 5,	6,	v 7,	1,

又短音十二個ナル一歌曲アリテ之ヲ區分スルコト左ノ如ク各小節三音トセバ即<sup>チ</sup>三部分ヲ以テ成ル四小節ヲ得ルナリ然ルキハ其聲力ヲ附スルコト第一部ニ強第二部ニ中強第三部ニ弱

ナリトス但其記號ノ如キモ亦聲力ノ強弱ニ從テ之ヲ大中小ニ區別スベシ

$\frac{3}{\text{短音}}$  1, 1, 1, | 2, 2, 2, |  
3, 3, 2, | 1, 0, 0, ||

左ニ記スルガ如キ四部一小節ノモノハ其聲力ヲ附スルコト第一部ニ強、第二部ニ中弱、第三部ニ中強、第四部ニ弱ナリトス但其記號モ亦之ニ

準ス

$\frac{4}{\text{短音}}$  1, 1, 2, 2, | 3, 3, 4, 4, |  
5, 5, 4, 4, | 3, 2, 1, 0, ||

汝等ヨク注目シテ此各教課ノ終尾ニ併合縦線アルヲ見ルベシ

第四教

余此ニ階名及調名ヲ以テ唱フベキニ三ノ教課  
ヲ示サント欲ス而シテ若之ニ歌詞ヲ附スルコ  
トアラバ左ノ順序ニ依テ唱フナリ

第一〇階名

第二〇調名

第三〇歌詞

教課

- 第一 1,1|2,0|2,2|1,0||
- 第二 1,1|2,2|1,2|1,0||
- 第三 1,1|1,0|2,2|2,0|1,2|1,1|2,2|1,0||
- 第四 1,2|3,0|3,2|1,0||
- 第五 1,2|3,2|3,2|1,0||
- 第六 1,1|2,2|3,0|2,2|3,2|1,0||

第三 1, 3, | 2, 4, | 3, 2, | 1— || 第四 3, 1, | 4, 3, | 2, 2, | 1— ||

第五 1, 3, | 1, 0, | 2, 4, | 2, 0, | 3, 1, | 4, 3, | 2, 2, | 1— ||

第六 1, 2, | 3, 2, | 3, 4, | 5, 0, | 5, 4, | 3, 4, | 3, 2, | 1, 0, ||

第七 1, 2, | 3— | 3, 4, | 5— | 4, 4, | 3, 3, | 2, 2, | 1— ||

第六 1, 1, 2, | 3, 3, 4, |

5, 4, 3, | 2— 0, |

2, 3, 4, | 5, 4, 3, |

4, 3, 2, | 1— 0, ||

ノ 三  
小 部 分  
節 分 (即三拍子)

音階ニ於ル(2)(3)及(1)ヨリ(4)ノ轉唱

第七 1, 2, | 3, 0, | 1, 3, | 1, 0, || 第八 1, 3, | 2, 2, | 1, 3, | 1, 0, ||

第九 1, 1, | 2, 0, | 2, 2, | 3, 0, | 3, 2, | 3, 1, | 2, 2, | 1, 0, ||

第十 1, 2, | 3, 0, | 3, 4, | 3, 0, | 3, 4, | 3, 2, | 1, 2, | 1, 0, ||

第十一 1, 2, | 3, 0, | 2, 3, | 4, 0, | 3, 2, | 1, 3, | 2, 2, | 1, 0, ||

第十三 1— | 1, 1, | 2, 2, | 3, 0, |

4— | 3, 3, | 2, 2, | 1, 0, ||

長音ノ記號

音階ニ於ル二音ノ轉唱

第三 1, 2, 3, 4, | 5, 5, 5, 5, | 4, 3, 2, 1, | 2, 2, 2, 0, |

2, 3, 4, 5, | 6, 6, 6, 6, | 5, 4, 3, 2, | 1, 1, 1, 0, ||

第四 1, 3, 5, 0, | 1, 4, 6, 0, | 1, 5, 6, 4, | 2, 5, 1, 0, ||

第五 1, 3, 5, 3, | 4, 6, 5, 0, | 1, 3, 5, 3, | 4, 6, 5, 0, |

6, 4, 2, 0, | 5, 3, 1, 0, | 4, 2, 3, 1, | 5, 5, 1, 0, ||

第六 1, 2, | 3, 4, | 5, 6, | 7, 1, | 1, 7, | 6, 5, | 4, 3, | 2, 1, ||

第七 1, 2, | 3, 2, | 3, 4, | 5, 0, | 6, 7, | 1, 7, | 6, 7, | 1, 0, ||

第八 1, 1, 7, 7, | 6\_5\_ | 4, 4, 5, 4, | 3\_0\_ |

4, 4, 5, 5, | 6\_5\_ | 6, 6, 7, 7, | 1\_0\_ ||

四部分即四拍子ノ小節

第九 1, 3, | 5\_ | 5, 3, | 1\_ || 第十 1, 3, | 5, 3, | 4, 2, | 1\_ ||

第十一 1, 1, 3, | 5, 0, 0, | 1, 1, 3, | 5, 0, 0, |

4, 3, 2, | 3, 1, 3, | 5, 4, 2, | 1, 0, 0, ||

第十二 1, 2, | 3, 1, | 4, 1, | 5, 0, | 5, 4, | 3, 5, | 2, 5, | 1, 0, ||

音階ニ於ル (1) (3) (5)ノ轉唱

### 定則記譜ノ教授法

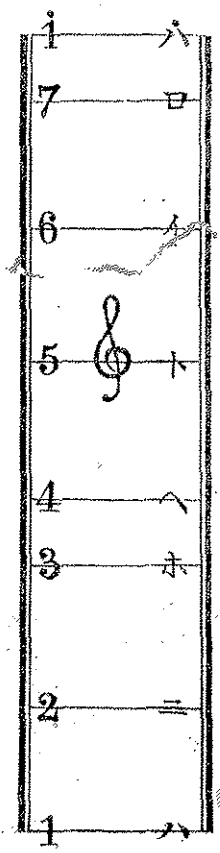
前教ノ如ク音階ヲ圖スルコトナク唯其階名或ハ調名ヲ採リテ之ヲ教授スルハ初學生ノ練習ニ最適當スベキ方法ナリト雖氏生徒ノ此期限ヲ經過スルノ速ナルコト恰科斗ノ忽化シテ蛙トナリ水中ヲ離レテ其居所ヲ地上ニ轉ズルト一般ナリ

師生徒ヲシテ嘗テ豫備ノ教課ニ説示シタル音階及小節ノ理義ヲ忘却スルコト無カラシメバ定則記譜ノ課ニ至リ生徒ヲシテ讀譜ノ理ヲ會

得セシムルノ一助トナルモノナリ故ニ師ハ次教ニ於ルモ猶音階ヲ圖シテ之ニ各音ノ調名ヲ附スルヲ可トス

### 第五教

### 調名及(ト)字記號ノ事



第一〇圖ノ如ク伊呂波ノ最初ノ七文字ヲ採リ

テ之ヲ音階ノ調名トス

第二〇此圖ニ依リテ(1)ノ調ハ(ハ)字、(2)調ハ(ニ)字、  
 (3)調ハ(ホ)字、(4)調ハ(ヘ)字、(5)調ハ(ト)字、(6)調ハ(イ)字、  
 (7)調ハ(ロ)字、(1)調ハ(ハ)字ナルコトヲ知ルベシ

第三〇圖ノ如ク(ハ)字ハ(1)、(1)ノ兩調ニ使用スト  
 雖<sub>レ</sub>凡<sub>レ</sub>蓋<sub>レ</sub>其字頭ニ附スル所ノ記號ニ依リテ詳ニ  
 之ヲ識別スベシ即<sub>チ</sub>無記號ノ(ハ)、一點記號ノ(ハ)是  
 ナリ

第四〇音階第五度ノ線上ニ(ト)調ノ記號ト名ク  
 ル<sub>レ</sub>ヲ附スル所以ハ即<sub>チ</sub>此音度ノ常ニ(ト)調タル

ヲ示サントスルニ在レバナリ

嘗テ教授シタル小節ノ種類ハ四分ノ二、四分ノ  
 三、及<sub>レ</sub>四分ノ四ナル三種ナリ、而シテ今將ニ授ケ  
 ントスル教課ハ別ニ小節區分ノ練習ヲ要セズ  
 唯<sub>レ</sub>其希望スルモノハ各小節ノ第一部ニ最<sub>モ</sub>聲力  
 ヲ附スベキコトヲ記臆セシムルノ一項ニ在リ

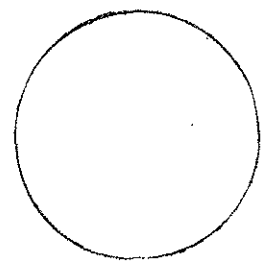
### 第六教

#### 音符及休止符ノ事

余今唱音及休止ノ長短差異如何ヲ示スベキ符

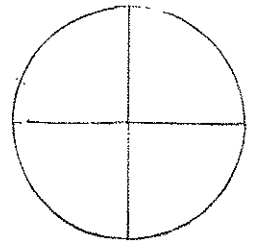


號ノ諸種類ヲ舉テ以テ左ニ之ヲ解説セント欲  
 ス又其説明ノ如キハ先四分ノ四拍子ヲ以テ成  
 ル小節ヨリ始ムルヲ可トス  
 師云○余が一圓圈ヲ畫ガク間ニ(十)字幾許ヲ唱  
 フカラ審聽シテ余ニ之ヲ告ゲヨ



〔此時師ハ上ノ如ク唱ヒ  
 ツ、圓圈ヲ畫ク〕

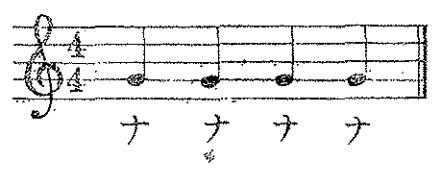
生答○四ナリ



〔師線ヲ以テ圓圈ヲ分ツコト  
 上ノ如クス〕

師問○余ハ此圓圈ヲ幾部分ニ分チタリヤ而シ  
 テ此各部分ヲ何ト名クルゾ  
 生答○四分一部ト名クルナリ

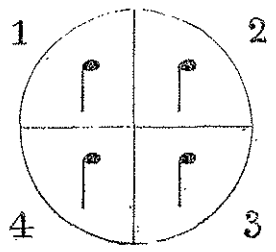
〔師ハ左ノ如ク唱ヒツ、各四分一部ヲ指  
 示ス〕



師問○余ガ今此各四分一部ニ唱ヒシ音ノ長短  
ハ如何

生答○短音ナリ

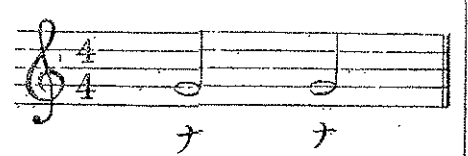
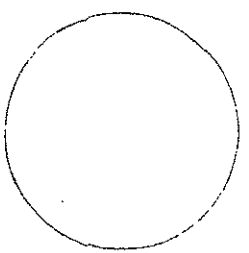
〔師此圓圈ノ各四分一部ニ四分符ヲ記ス  
ルコト左ノ如クス〕



師云○余ハ各四分一部ニ短音符ヲ記セリ而シ  
テ之ヲ四分符ト名クルナリ

師云○余復他ノ圓圈ヲ畫カン其時唱フ音數幾  
許ナリヤ切ニ聽キテ余ニ之ヲ告ゲヨ

〔此時師ハ畫ガキ且唱フコト左ノ如クス〕

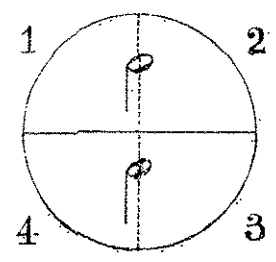


生答○四分符二個ヲ合セタル音長ノモノニナ

師云○然リ汝等正ニ余ガ思想ヲ推知セリ

〔此時師ハ水平線ヲ以テ圓圈ヲ別ツコト  
上下ノ二部トナシ又鉛直ニ點線ヲ記シ

テ之ヲ四分シ而シテ其點線上ニ二分符  
ヲ記スルコト左ノ如クス



師云○余ハ汝が見ル如ク圓圈ヲ分半シタル水  
平線上ニ四分符二個ノ音長ナル一符號ヲ置キ  
其線下ニモ亦同一種類ノ符號ヲ記セリ而シテ  
汝等此符號ニ如何ノ名稱ヲ下シテ適セリトス

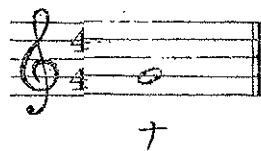
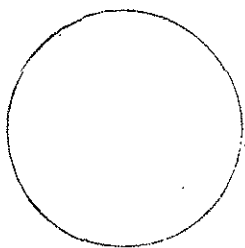
ルゾ

生答○半ノ符號ナリ

師問○汝等四分符幾個ヲ唱ヒテ一半符ニ適セ  
リトスルゾ

生答○二個ナリ

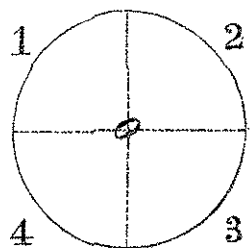
〔師更ニ圓圈ヲ畫ガキ且之ヲ唱フコト左  
ノ如クス〕



師問○余ガ此圓圈ヲ畫ガク間ニ幾音ヲ唱ヒシ  
ゾ

生答○一音ヲ唱ヒタリ

〔此時師ハ點線ヲ以テ圓圈ヲ四分シ而シ  
テ其中央ニ一ノ完全符ヲ記スルコト左  
ノ如クス〕



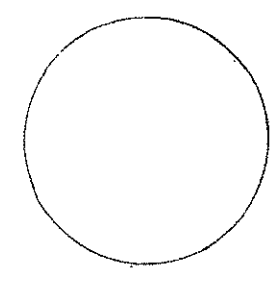
師云○此符號ハ一聲ニシテ四個ノ四分一部ヲ

迴唱セリ而シテ既ニ示シタル第一圓圈ニ於テ  
 ハ其符號ヲ四分符ト呼ビ第二圓圈ニ於テハ其  
 符ヲ半ノ符號ト呼ビタルナラン然ラバ即チ此圓  
 圈ノ符號ヲ呼ブニ如何ノ名稱ヲ下シテ適セリ  
 トスルゾ

生答○完全符ノ名ヲ下シテ適セリトス  
 師云○然リ、汝等常ニ意ヲ用ルコト此ノ如クセ  
 バ余ガ更ニ圓圈ヲ畫ガントスルキ幾音ヲ唱フ  
 ヤ必<sup>ス</sup>余ニ之ヲ告グルコトヲ得ベシ

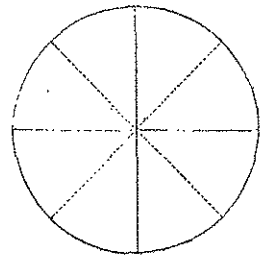
〔此時師ハ圓圈ヲ畫ガキ且唱フコト左ノ

如クス



生答○八音ナリ

〔師圓圈ノ四分一部ヲ更ニ分割スルコト  
 左ノ如クス〕



師云○然リ、余ハ各四分一部ニ二音ヲ唱ヒタリ  
汝等亦余ガ此圓圈ヲ指ス片各四部一分ニ二音  
ヲ唱フベシ

〔生徒等正シク之ヲ唱フ〕

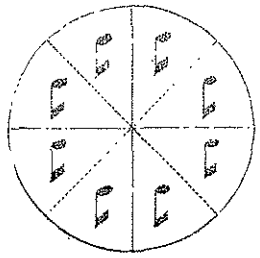
師問○此圓圈中ニ同一ノ部分幾許アリヤ

生答○ハアリ

師云○余ハ此八部分ニ符號ヲ記セン但此符號

ハ二個ヲ合セテ四分符一個ニ等レキモノト知  
ルベシ

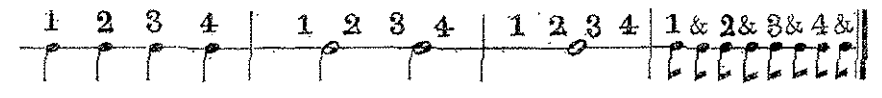
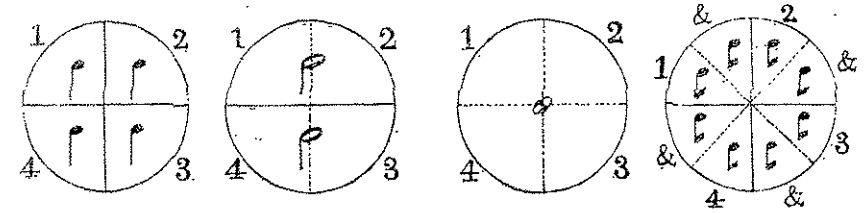
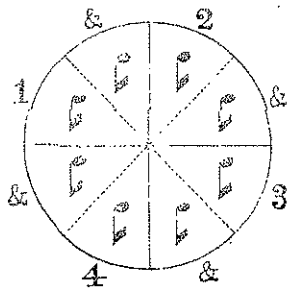
〔此圓圈ニ符號ヲ記スルコト左ノ如クス〕



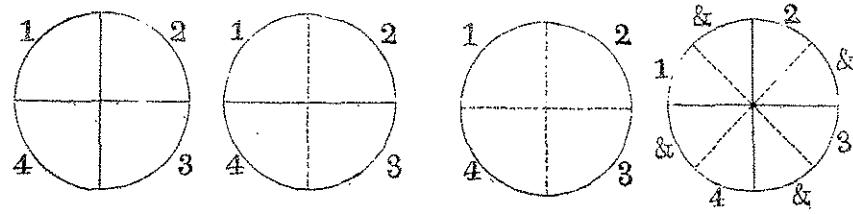
師問○汝等余ニ此符號ノ名稱ヲ演ベ得ルヤ如  
何

〔生徒等多分ハ此符名ヲ答フルナラン若  
答フル能ハザレバ師之ヲ教フベシ〕

師云○余ハ汝等ヲシテ此ハ部分ヲ呼ビ易カラ  
 シメンガ爲ニ一良法ヲ設ケテ其各部ニ其名號  
 ヲ下サント欲ス即其良法トハ他ナシ既ニ示シ  
 タル第一圓圈ノ如ク圓圈各四分一部ノ第一部  
 ニ名號ヲ附シテ其第二部ハ唯 (&) ト呼フナリ  
 [此時師ハ左ノ如ク圓圈ニ名號ヲ附ス]



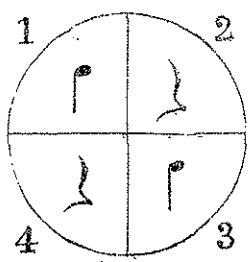
師云○余ハ圓圈ニ依  
 テ符號ノ四種類ヲ示  
 シタリ故ニ更ニ其四  
 種ノ圓圈ヲ陳列シ其  
 圓圈下ノ水平線ニモ  
 亦其符號ヲ記載セン  
 トス  
 休止符  
 師更ニ四個ノ圓圈ヲ畫



ガクコト上ノ如クシテ次ノ  
 教授ニ進ムベシ  
 師云○余ガ何ノ部ニ唱ヒ何  
 ノ部ニ休止スルカラ審聽セ  
 ヲ  
 〔師ハ第一及第三ノ四分一  
 部ニ唱フ〕  
 生答○師ハ第一及第三ノ兩  
 四分一部ニ唱ヒテ第二及第  
 四ノ兩四分一部ニ休止セリ

師云○余ハ今其唱ヒタル部分ニ四分音符ヲ記  
 シ又其唱ハザル部分ニ四分休止符ヲ記セント  
 ス

〔師符號ヲ記スルコト左ノ如クス〕



師云○余ハ次ノ圓圈ニ於テ何ノ部分ニ唱フヤ  
 善ク審聽シテ之ヲ告ゲヨ

〔此時師ハ圓圈ヲ指シツ、上半ニ四分一

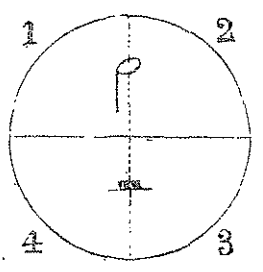


部ニ唱ヒ下半ニ四分一部ニ休止ス

生答○師ハ圓圈ノ上半部ニ唱ヒテ下半部ニ休止セリ

師云○善シ然ラハ二四分一部ナル上半部ニ半ノ音符ヲ記シ下半部ニ半ノ休止符ヲ記セン

〔師符號ヲ記スルコト左ノ如クス〕



師云○余第三圓圈ニ至リテハ四四分一部全ク

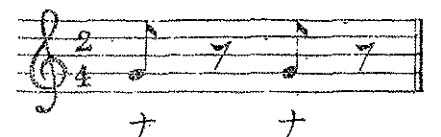
皆休止スベキ完全ノ休止符ヲ示サント欲ス而シテ半ノ休止符ハ其位置譜表線ノ上方ニ向ヒ完全ノ休止符ハ其線ノ下方ニ向ヘバ汝等亦善ク之ニ注目スベシ

師云○余ガ第四圓圈ノ上半ニ四分一部ニ於テ

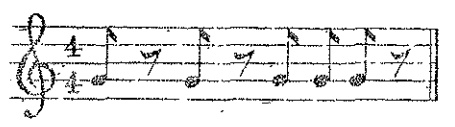
何ノ部ニ唱ヒ何ノ部ニ休止スルカヲ審聽シテ余ニ之ヲ告ゲヨ

〔此時師唱フコト上ノ如クス〕

生答○師ハ一、二ノ兩部ニ唱ヒテ兩ノ(&)部ニ休止セリ

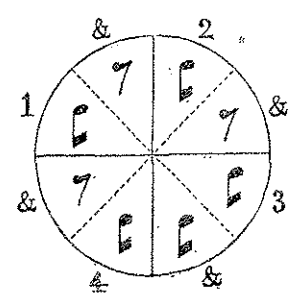


師云○余ハ今其唱ヒニ部分ニ八分音符ヲ置キ  
 其唱ハザリシ部分ニ其休止符ヲ記セン而シテ  
 余ハ更ニ此圓圈ヲ唱過一廻セン汝等余ガ其第  
 三及第四ノ兩四分一部ニ於テ何ノ部ニ唱フカ  
 善ク審聽シテ之ヲ告ゲヨ



〔師唱フコト上ノ如クス〕

生答○師ハ第三四分一部ノ第一、第二ノ兩部ニ  
 唱ヒ又第四四分一部ノ第一部ニ唱ヒテ其第二  
 部ニ休止セリ

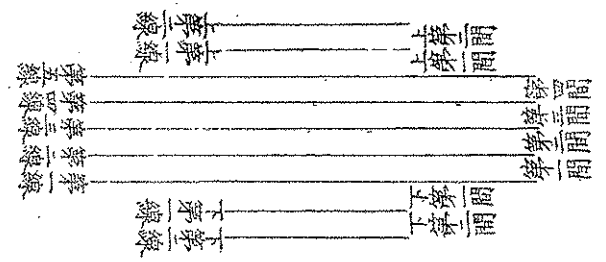


〔師圓圈ニ符號ヲ記スルコ  
 ト上ノ如クス〕

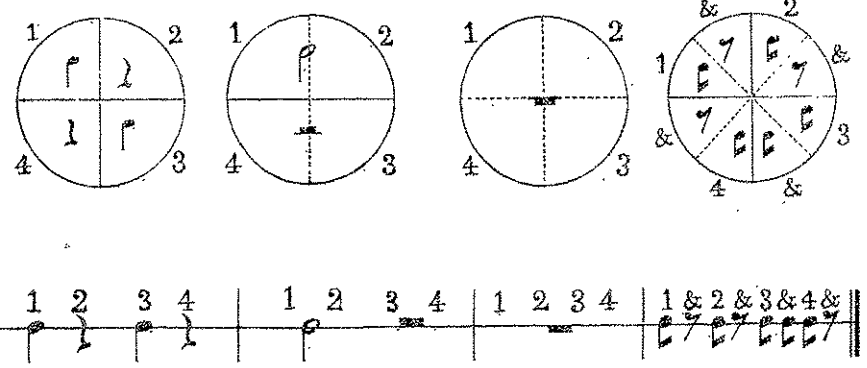
師云○余ハ此ノ如キ休止符アル四個ノ圓圈ヲ  
 更ニ陳列シ其圓圈下ノ一線上ニ其唱フト唱ハ  
 ガルトノ符號ヲ記載セント欲ス

# 第七教

## 譜表線名稱ノ事



師云○爾後汝等ヲシテ特ニ  
 學修セシメント欲スルハ譜  
 表線ニ依テ樂譜ヲ讀ムノ一  
 事ナリ而シテ其譜表線トハ  
 即チ上ニ示スガ如キ五條ノ水  
 平線ヲ以テ成レルモノナリ  
 此五線及其線間ヲ呼フノ順  
 序ハ皆下ヨリ上ニ第一線第



〔師記スルコト上ノ如  
 クス〕

二線、第三線又第一間、第二間、第三間ト數フルモノナリ

譜表線上ニ符號ヲ配置スベキ地位ハ線上、線間併セテ九アリ然レ其地位九個ニシテ完全スルコト能ハザルキハ常ニ天ハ第五線上、地ハ第一線下ニ符號ヲ置クコト自在ナリ此ノ如キ場合ニ在リテハ譜表線ノ天地ニ短線ヲ記シテ其線上、線間ニ符號ヲ配置ス  
音階ヲ譜表上ニ轉記スルノ位置ハ素ヨリ我が隨意タリト雖モ唯音階(1)ノ符號ヲ置キタル線

上若クハ線間ヨリ他音ノ符號ヲ其順序ニ隨ヒテ適當ノ位置ニ配賦スルモノトス  
音階ヲ譜表上ニ轉記スル事



(1) 1 2 3 4 5 6 7 i  
(2) ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ



i 7 6 5 4 3 2 1  
ハ ロ イ ト ヘ ホ ニ ハ

師云○余ハ既ニ汝等ヲシテ數字ニ依テ四十一  
教課ノ吟唱ヲ習得セシメタリ而シテ爾後生徒  
等其進ムニ從ヒ數字等ノ如キ記號ニ依ラズ專  
譜表ニ就キテ歌曲ヲ唱フコトヲ學ビ修メザル  
ベカラス

### 練習法如何ノ事

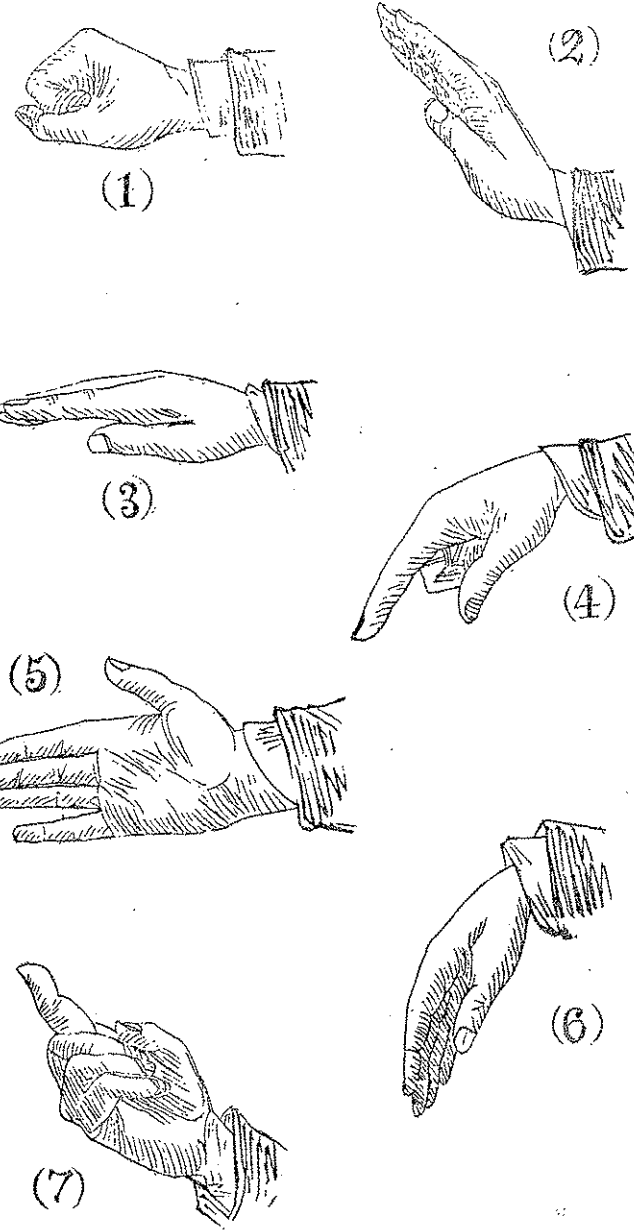
師云○凡、歌曲及諸教課ヲ唱ハントスルニ方リ  
テ其音調、長短等ノ正確ナルハ素ヨリ言フ俟タ  
ザレ氏其音聲ニ至リテモ亦須ク爽朗温雅ニシ

テ發聲意ノ如クナラザル可カラズ殊ニ歌詞ヲ  
附スルモノ、如キハ其發音カテ分明清麗ナル  
ヲ要ス是皆唱歌上眞ニ缺クベカラザルノ要件  
ナリ

### 手頭ノ動作ヲ以テ音階ノ諸音ヲ 指示スル事

左ニ圖スルガ如キ手頭ノ動作ニ依テ數字ヲ練  
唱セシムルノ方法ハ英國倫敦府ノ僧ジーン、カ  
ウン氏ノ發明ニシテ余試ニ使用シテ實際上大

ニ其益アルコトヲ知レバ併テ此ニ之ヲ記ス



音樂捷徑終

及人内田君。夙究西籍。  
兼學洋樂。頃新譯米人  
梅却氏所著音樂教授  
書。名曰音樂捷徑。將上  
梓。徵余題言。予承乏音樂

教實之志。知本書大益於  
學者。不堪欣躍。將有所詳  
述。而職務甚劇。未遑操  
觚。遂書嘗多懷。梅邨氏  
二絕。以代題言。

誨人諄復不嫌煩。鶴髮童  
顏言語溫。能使諸生有餘  
慕。子秋只算一樵村。  
音律中來彼我同。區何  
必限西東。取他長處補

吾短。始見洋。盈耳功。

明治十六年春三月上澣

夢香上真行



迂真茂書



明治十六年四月廿日 版權免許  
同 年四月 出版

定價金廿錢

翻譯兼  
出版人

東京府平民

內田彌一



麴町區飯田町三丁目  
廿五番地

英蘭堂島村利助

東京馬喰町二丁目五番地

發兌  
書肆

同支店

同本郷春木町三丁目一番地



賣

大坂心齋橋筋二丁目

西京二條通り柳馬場東入

備前岡山仲ノ町

熊本新二丁目

美濃大垣岐阜町

東京日本橋通二丁目

同 通り二丁目

同 中橋廣小路町

同 呉服町

松村九兵衛

若林茂助

細 謹 舍

長崎次郎

岡安慶介

北畠茂兵衛

稻田佐兵衛

篠崎才助

宮島儀三郎

捌 書 肆

